

13.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じてても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社
型番: <input type="checkbox"/> SW-KVM2U3HD <input type="checkbox"/> SW-KVM4U3HD	シリアルナンバー:	
お客様・お名前・ご住所・TEL		
販売店名・住所・TEL		
担当者名	保証期間 1年	お買い上げ年月日 年 月 日

最新の情報はWEBサイトで <https://www.sanwa.co.jp/>



本製品の詳細情報はこちら!

スマホで読み込むだけで簡単にアクセス!



弊社サポートページはこちら!

■サポート情報 ■Q&A(よくある質問)
■ソフトダウンロード ■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田前 1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井 6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区権町 1-6-37 T.M.仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則成 1-16-18 CUBE MIEIKI TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区高麗 4-5-38 ONEST 新大阪スクエア TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CC/AG/TDeNo

SANWA
SUPPLY

SW-KVM2U3HD
SW-KVM4U3HD

4K対応HDMIパソコン自動切替器 取扱説明書

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE



この度は、4K対応HDMIパソコン自動切替器「SW-KVM2U3HD」、「SW-KVM4U3HD」(以下本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容(SW-KVM2U3HD)

- ①切替器 1台
- ②HDMIケーブル 2本
- ③USB3.2 Gen1ケーブル 2本
- ④オーディオケーブル 2本
- ⑤電源アダプタ 1個
- ⑥電源コード 1本
- ⑦取扱説明書・保証書(本書) 1部

※欠品や破損があった場合は、品番(SW-KVM2U3HD)と上記の番号(①~⑦)と名称(電源アダプタなど)をお知らせください。

セット内容(SW-KVM4U3HD)

- ①切替器 1台
- ②HDMIケーブル 4本
- ③USB3.2 Gen1ケーブル 4本
- ④オーディオケーブル 4本
- ⑤電源アダプタ 1個
- ⑥電源コード 1本
- ⑦取扱説明書・保証書(本書) 1部

※欠品や破損があった場合は、品番(SW-KVM4U3HD)と上記の番号(①~⑦)と名称(電源アダプタなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。

本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

■安全にお使いいただくためのご注意	3
・注意	3
・お手入れについて	3
■取扱い上のご注意	3
1.本書について	4
2.本書の表記について	4
3.特長	5
4.必要なハードウェア環境	5
・対応パソコン	5
・対応OS	5
5.各部の名称とはたらき	6
・フロントパネル	6
・バックパネル	7
6.本製品の使用方法	8
・接続する前に	8
・接続例	9
・ポート番号の割当て	10
・ホットプラグ	10
・終了と再起動	10
7.基本操作	10
・ボタン切替え	10
8.ホットキー操作	11
・ホットキーによるポートアクセス	11
・ホットキーモードの起動	11
・ホットキーによる切替え操作	11
・ポートのダイレクト切替え一覧表	11
・オートスキャン	12
9.ホットキーセッティングモード	12
・ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する	12
・ポート切替えのホットキーを変更する	13
・使用キーボードを変更する	13
・ホットキーの設定を確認する	13
・USBをリセットする	13
・ポート切替え時のピーブ音を止める	14
・ポート切替えホットキーを無効にする	14
・ホットキーの設定をデフォルトに戻す	14
・デフォルトEDIDモードを有効/無効にする(初期設定:無効)	14
・キーボードエミュレーションを有効/無効にする(初期設定:有効)	14
・最大2つのオーディオソースをミックスしてスピーカーに同時出力できる機能	15
・ホットキーセッティングモード 一覧	16
10. Macキーボードエミュレーション	17
11.仕様	18
12.トラブルシューティング	19

安全にお使いいただくためのご注意 (必ずお守りください)

■注意：下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えることがあります。

- 取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
 - (1)直射日光の当たる場所
 - (2)湿気や水分のある場所
 - (3)傾斜のある不安定な場所
 - (4)静電気の発生する場所
 - (5)通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

■お手入れについて

- (1)清掃するときは電源コードを抜いてください。
- (2)機器は柔らかい布で拭いてください。
- (3)シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万一に備えてデータのバックアップをこまめにすることを勧めます。(切替え時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜けなど)

1.本書について

この取扱説明書では**SW-KVM2U3HD・SW-KVM4U3HD**の取付けや接続方法、操作方法について説明しています。本書の構成については下記をご覧ください。

- はじめに …………… 本製品の特長や機能の紹介、またフロント・バックパネルについて説明します。
- 導入 …………… 本製品の接続や設定方法などについて説明します。
- ホットキー操作 …… 本製品のホットキー操作について説明します。
- 付録 …………… 本製品についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめてあります。

2.本書の表記について

[]	入力するキーを示します。例えば【Enter】はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、【Num Lock】+【+】のように「+」を表記してあります。同時ではなく順番に押す場合は、【K】→【Enter】のように「→」を表記してあります。
(1)	番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
●	●印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
!	注意していただきたいことを記載しています。

本書では、以下の表記を使用します。

KVM ……………	キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ ……………	スピーカー・ヘッドホンのこと
USBハブ ……………	フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

3.特長

- 1組のHDMIディスプレイ・USBキーボード・USBマウスで2台(4台)のパソコンを切替えて使用できます。
- 4K(3840×2160)/60Hz、4K(4096×2160)/60Hz解像度に対応しており美しく高精細なHDMI信号を出力できます。
- ディスプレイエミュレーション機能(EDID読み出し回路)を搭載。ディスプレイのEDIDを読み込みKVMに保存、DDC通信時に各ポートへ応答することで裏起動時に画面解像度が変わる、画面サイズが変わるという問題が発生しません。
- HDCP対応だから地デジやブルーレイメディアの著作権保護規制がかかった映像も再生できます。
- USB3.2 Gen1ハブを2ポート搭載しており、カードリーダーやプリンターなど各種USBデバイスを2台のパソコンで切替えて共有することができます。さらに単独切替も可能なので別のパソコンでUSB機器を動作させながら他のパソコンで作業をする、ということも可能です。
- スピーカーの共有も可能。単独切替にも対応しておりコンソールデバイスとスピーカーは別々に切替ができます。パソコンで作業中に別のパソコンから音楽を流す、作業状況を音声で確認することが可能です。
- KVM、USB3.2 Gen1ハブ、オーディオの独立切替が可能です。
- キーボードポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。
- ホットキー、本体切替ボタン、2通りの切替方法に対応しています。
- マウス・キーボードのみの接続も可能です。(HDMIディスプレイはパソコンへ直結して使用)
- HDMIのみの接続も可能です。
(キーボード・マウスは未接続。ACアダプタの接続は必要。ボタン切替操作のみ対応。)
- ソフトウェアのインストール不要で、接続するだけで全ての機能を使用することができます。
- 全てのパソコンをモニタリング可能なオートスキャン機能搭載。
- 最大2つのオーディオソースをミックスして同時出力できるオーディオミックスモードを搭載。ポートを切り替えていてもシステム警告音などをチェックすることができます。

4.必要なハードウェア環境

■対応パソコン

Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ
※USB Aコネクタ メス、HDMI出力を持つ機種

■対応OS

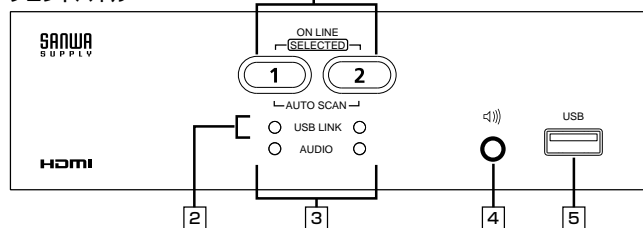
Windows 11・10・8.1・8・7・Vista・XP
Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016/2019
macOS 12・11、macOS 10.12~10.15、Mac OS X 10.8~10.11
Linux(CentOS、Ubuntu、openSUSE)



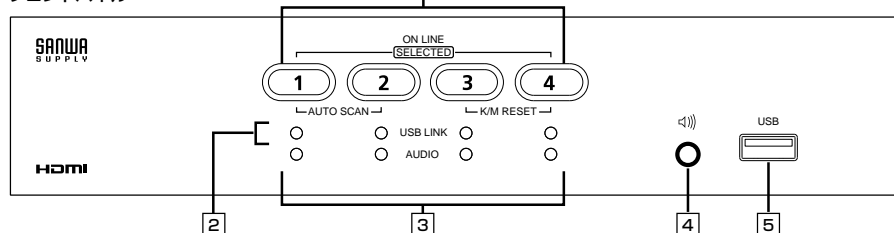
キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバーを要する機能についても本製品経由では使用することができません。

5.各部の名称とはたらき

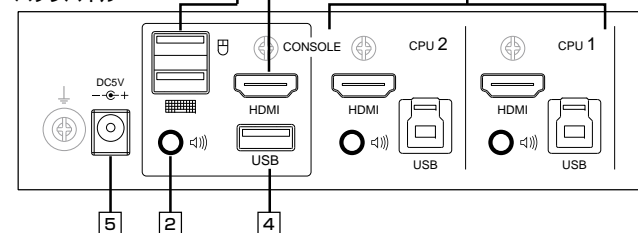
SW-KVM2U3HD
フロントパネル



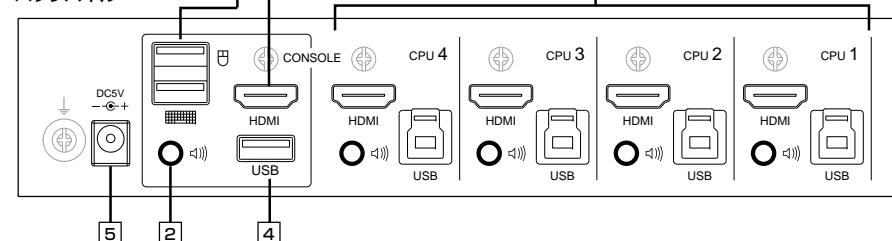
SW-KVM4U3HD
フロントパネル



SW-KVM2U3HD
バックパネル



SW-KVM4U3HD
バックパネル



<フロントパネル>

① ポート選択ボタン	1秒短押し▶KVM・USBハブ・オーディオ全てを選択したポートに切替えます。 2秒長押し▶KVMのみを選択したポートに切替えます。 2回押し▶オーディオのみを選択したポートに切替えます。 ポート選択ボタン1と2を同時に2秒長押し▶オートスキャンモードを開始します。 【数字LEDの動作】 薄くオレンジ点灯時▶パソコンの電源がON 濃いオレンジ点灯時▶該当ポートが選択されています。 点滅時▶オートスキャンモード中
② USB LINK	緑点灯時▶選択しているポートにUSBハブが切り替えられています。
③ AUDIO	緑点灯時▶選択しているポートにスピーカーが切り替えられています。
④ コンソールオーディオポート	コンソールで使用するスピーカー・ヘッドホンを接続します。 (背面コンソールオーディオポートと両方接続時は前面が優先されます)
⑤ USBハブポート	USB3.2Gen1対応の周辺機器(プリンター、USBメモリなど)を接続します。

<バックパネル>

① コンソール マウス・キーボードポート	マウス・キーボードを接続します。
② コンソール オーディオポート	コンソールで使用するスピーカー・ヘッドホンを接続します。 (前面コンソールオーディオポートと両方接続時は前面が優先されます)
③ コンソール HDMIポート	HDMIケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを接続します。
④ USB3.2 Gen1 ハブ	USB3.2Gen1対応の周辺機器(プリンター、USBメモリなど)を接続します。
⑤ 電源ジャック	付属の電源アダプタを接続します。
⑥ パソコンポート	付属の接続ケーブルを使用し、パソコンを接続します。 各ポートはHDMIコネクタ、USB3.2 Bコネクタ、スピーカーコネクタで構成されています。

6.本製品の使用方法

■接続する前に

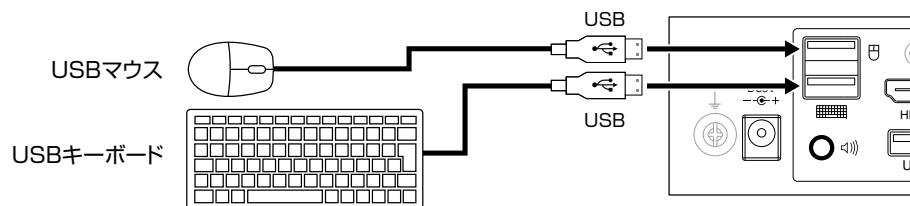


- (1)接続するパソコンや周辺機器など、すべての電源がOFFになっていることを確認してください。キーボード起動機能があるパソコンは、電源ケーブルも抜いてください。
- (2)パソコンや周辺機器へのダメージを避けるため、接続されているすべての周辺機器が正しくアース接続されていることを確認してください。
- (3)以下の手順に従って作業を行ってください。

- (1)キーボードとマウスを、本製品バックパネルのコンソールマウス・キーボードポートに接続します。

USBマウスとUSBキーボードを使用する場合

それぞれ該当するポートへ接続します。



- (2)HDMIケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを本製品バックパネルのコンソールHDMIポートに接続します。

- (3)メインで使用するスピーカーは、本製品フロントパネルのコンソールポート(オーディオ)に接続します。
※フロントパネルに接続したスピーカーは、バックパネルに接続したものよりも優先されます。

- (4)パソコンポートのHDMIポートにHDMIケーブルを接続してください。
付随しているスピーカーのコンネクタも、それぞれ同じグループのスピーカージャックに接続します。



- (5)ケーブルのもう一端は右図(P.9)のように接続します。

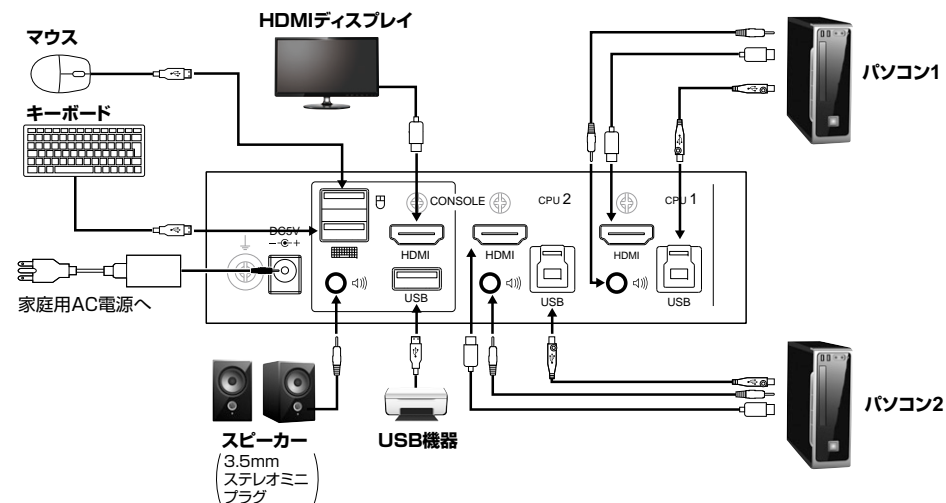
- (6)付属の電源アダプタと電源コードを使用し、本製品の電源ジャックとコンセントを接続します。

- (7)USB機器は本製品フロントおよびバックパネルのUSBハブポートに接続します。

- (8)パソコンの電源をONにします。

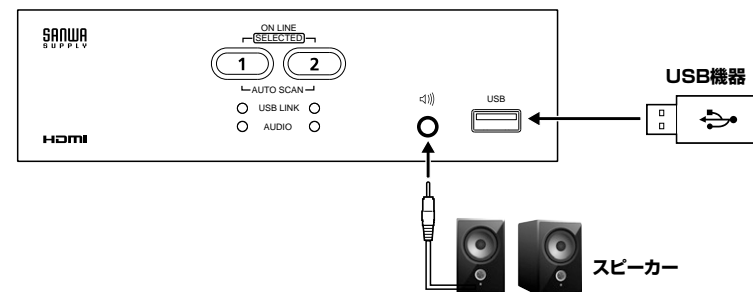
■接続例 …… 図はSW-KVM2U3HDの接続例です。パソコンを2台まで接続・制御できます。

<接続例>バックパネル



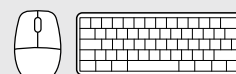
<接続例>フロントパネル

スピーカー・USB機器はフロントパネルからでも接続できます。



<接続例>その他

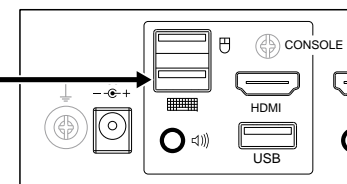
ワイヤレスキーボード+マウスセットの場合



ワイヤレス
キーボード・マウスセット



ワイヤレスキーボード・
マウス用レシーバー



6. 本製品の使用方法(続き)

■ポート番号の割当て

本製品の各ポートには、ポート番号が割当てられています。ポート番号はバックパネルのパソコンのポートに明記されています。

パソコンのポートのポートIDは、そのパソコンを接続したポート番号に対応します。例えば、ポート2に接続されたパソコンのポートIDは2になります。

ポートIDは、KVM・USB・オーディオのコントロールをホットキーによって切替える時に使用します。

■ホットプラグ

本製品はUSBホットプラグに対応しています。本製品に接続された機器は、電源を入れたままUSBポートに接続・取外しができます。

■終了と再起動

本製品の電源を切ったり再起動する場合は、以下の手順に従ってください。

- (1)本製品バックパネルからKVM(キーボード・マウス・ディスプレイ)ケーブルを取外します。
- (2)本製品から電源アダプタ・電源コードを取外します。
- (3)10秒経過してから、KVMケーブルを再び接続します。
- (4)本製品に電源アダプタ・電源コードを再び接続します。

7. 基本操作

本書では、以下の表記を使用します。

KVM	……………	キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ	……………	スピーカー・ヘッドホンのこと
USBハブ	……………	フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

■ボタン切替え

切替器前面のポート選択ボタン(SELECTED) を押して切替えてください。

- 1秒短押し
→KVM・USBハブ・オーディオ全てを選択したポートに切替えます。
- 2秒長押し
→KVMのみを選択したポートに切替えます。
- 2回押し
→オーディオのみを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタン1と2を同時に2秒長押し
→オートスキャンモードを開始します。

8. ホットキー操作

■ホットキーによるポートアクセス

ホットキーによって、キーボードからのコマンド入力での切替器を操作できます。

■ホットキーモードの起動

ホットキーによる全ての操作は、まずHKM(ホットキーモード)を起動してから行います。ホットキーモードは、[Scr Lock] キーを2回連続で押すと起動します。

■ホットキーによる切替え操作

ホットキーモードになると、[Scr Lock] と [Caps Lock] のLEDが交互に点滅します。この状態で「コマンド」キーを入力し、[Enter] キーを押します。以上で「コマンド」キーに対応した切替え操作を行うことができます。

■ポートのダイレクト切替え一覧表

ホットキー	機能
[Scr Lock][Scr Lock][Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを次のポートに切替えます。 SW-KVM2U3HD : ポート1→ポート2 または ポート2→ポート1 ※1 SW-KVM4U3HD : ポート1→ポート2→ポート3→ポート4→ポート1
[Scr Lock][Scr Lock][K][Enter]	KVMコントロールのみを次のポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][U][Enter]	USBハブのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][S][Enter]	オーディオのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 ※1
[Scr Lock][Scr Lock][n][K][Enter]	KVMコントロールのみを選択したポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][U][Enter]	USBハブのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][S][Enter]	オーディオのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][K][U][Enter]	KVMコントロールおよびUSBハブを選択したポートに切替えます。 オーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][K][S][Enter]	KVMコントロールおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 USBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][U][S][Enter]	USBハブおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールは現在のポートのままです。

※表中の[n]は、パソコンのポートID(1~4)を表しています。実際の操作時は、切替え対象となるポートIDを入力してください。
※1 KVM・USBハブ・オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、このホットキーによってすべて同じ選択ポートに切替えられます。

8.ホットキー操作(続き)

■オートスキャン

一定の間隔で自動的にKVMコントロールを切替えることができます。この機能によって、スイッチを毎回手で操作することなく、KVMに接続されたすべてのパソコンの状態をモニタリングできます。ホットキー操作については下表をご覧ください。

ホットキー	機能
[Scr Lock][Scr Lock][A][Enter]	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールが5秒間隔で切替わります。
[Scr Lock][Scr Lock][A][n][Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVMコントロールが指定した間隔(n=1~99秒)で切替わります。

- オートスキャン有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード入力は無効になります。
- オートスキャン時、ディスプレイの表示内容がポートごとに切替わりますが、キーボード・マウス・USBハブは切替わらず、オートスキャン開始時に選択されていたポートのままです。
- オートスキャンモードを終了するには、[Esc]または[スペース]キーを押してください。

9.ホットキーセッティングモード

ホットキー(キーを押す組合せ)によって本製品をキーボードから直接コントロールできますが、そのホットキーを変更(カスタマイズ)することもできます。ホットキーをカスタマイズするには、すべてホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。ホットキーセッティングモードは次の手順で有効にします。

- (1)[Num Lock]キーを押したまま、
 - (2)[-] (マイナス)キーを押し、すぐに離します。
 - (3)[Num Lock]キーを離します。
- 以下、この動作を[Num Lock]+[-]と表記します。

ホットキーセッティングモードが有効になると、

- [Caps Lock]と[Scr Lock]のLEDが交互に点滅します。
- 通常のキーボードおよびマウス機能は無効になり、ホットキー対応のキーストロークだけが有効となります。
- [Esc]キーを押すと、ホットキーセッティングモードを終了します。

以下、いろいろなカスタマイズをご紹介します。

■ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する

ホットキーセッティングモードを有効にするデフォルトの操作キーは[Num Lock]+[-]ですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、[Ctrl]+[F12]という操作に変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[H]	ホットキーセッティングモード起動キーストロークを循環式に変更する。 [Num Lock]+[-] ▶ [Ctrl]+[F12] ▶ [Num Lock]+[-] ……

このホットキーを再度押すと、デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻ります。

■ポート切替えのホットキーを変更する

ポート切替えに使用するデフォルトの操作キーは[Scr Lock]の2度押しですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、[Ctrl]の2度押しに変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[T]	ポート切替えに使用するキーを循環式に変更します。 [Scr Lock][Scr Lock] ▶ [Ctrl][Ctrl] ▶ [Scr Lock][Scr Lock] ……

このホットキーを再度押すと、デフォルトの[Scr Lock]2度押しに戻ります。

■使用キーボードを変更する

本製品のパソコンのポートはデフォルトでパソコン(Windows、Linuxなど)向けに設定されており、コンソールとして使用するキーボードもPC/AT互換キーボードを想定しています。Macを接続した場合でも、PC/AT互換キーボードでMacの特殊キー操作が行えるよう設定できます。また、Mac用キーボードを接続して使用することもできます。以下の設定をする場合、まずキーボード設定を行いたいポートを選択しておきます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。 PC/AT互換キーボードで、Macの特殊キー操作ができます。
[Num Lock]+[-]→[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、こちらを選択します。

■ホットキーの設定を確認する

現在のホットキー設定を確認することができます。

- (1)テキストエディタ、メモ帳を開きます。
- (2)ホットキーセッティングモードを有効にします。
- (3)[F4]キーを入力します。
- (4)クリップボードに現在のホットキー設定情報がコピーされます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F4]	現在のホットキー設定情報をクリップボードにコピーします。

■USBをリセットする

USB機器がコントロールできなくなったときは、以下の操作でリセットできます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F5]	USB機器をリセットします。

9.ホットキーセッティングモード(続き)

■ポート切替え時のビーブ音を止める

ポート切替え時、デフォルトではビーブ音が鳴りますが、これを止めることができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[B]	ポート切替え時のビーブ音を鳴らす、または止めます。循環式に変更します。

このホットキーを再度押すと、ビーブ音を鳴らす設定に戻ります。

■ポート切替えホットキーを無効にする

ポート切替えに使用するデフォルトの操作キーは[Scr Lock]の2度押しですが、これを無効にすることができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[X]→[Enter]	ポート切替えに使用する[Scr Lock]の2度押しを無効にします。循環式に変更します。

このホットキーを再度押すと、ポート切替えホットキーが有効になります。

■ホットキーの設定をデフォルトに戻す

ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[R]→[Enter]	ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻します。

■デフォルトEDIDモードを有効/無効にする(初期設定:無効)

モニターとの相性問題等でEDIDの認識が正常にできない時にデフォルトEDIDを強制的にソース側(パソコン側)に送ることでスムーズに出画させることができる機能です。

(切替器内蔵のデフォルトEDIDは3840×2160@60Hz)

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[V]→[Enter]	切替器内のデフォルトEDIDを有効にし、接続されたパソコンに強制的に認識させることで出画エラーを回避します。(初期設定:無効) もう一度ホットキー入力することで無効化できます。

■キーボードエミュレーションを有効/無効にする(初期設定:有効)

キーボードエミュレーションを無効にした場合でも一部のホットキー操作は可能です。

(P.16 ホットキーセッティングモード一覧参照)

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[N]	キーボードエミュレーションを有効/無効にします。(初期設定:有効)

■最大2つのオーディオソースをミックスしてスピーカーに同時出力できる機能

現在選択中のポートからのオーディオ出力にもう一つのポートのオーディオ出力を追加してMixさせた状態で出力することができます。または選択中のポートに関わらず、指定した2つのポートのオーディオ出力をミックスして出力することができます。ポートを選択していなくても警告音等を見逃すことはありません。

例) 現在ポート1のパソコンを使用している状態でポート2のオーディオをMix出力させたい場合

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[A]→[P]→[n]→[Enter]	[n]はポート1~4を入力。例ではn=2を入力すると、現在ポート1のパソコンを選択した状態でポート2の音声ミックスされ出力されます。

例) 現在ポート1のパソコンを使用している状態でポート3、4のオーディオをMix出力させたい場合
(SW-KVM4U3HDに限る)

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[A]→[P]→[n]→[m]→[Enter]	[n][m]はポート1~4を入力。例ではn=3、m=4を入力すると、現在ポートに関わらずポート3とポート4の音声ミックスされた状態で出力されます。

■Nキーロールオーバーの有効/無効を設定する(初期設定:有効)

複数のキーが同時に押されても正しく認識させるNキーロールオーバーの機能を有効/無効にできます。(初期設定:有効)
(Nキーロールオーバーは最大15キーまで)

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[K]→[Enter]	Nキーロールオーバーを有効/無効にします。(初期設定:有効)

■パワーディテクションの有効/無効を設定する(初期設定:有効)

パワーディテクション機能が有効の場合、現ポートのパソコンが電源OFFになった場合に、次の電源が入っているパソコンが接続されているポートに自動的に切替ります。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[E]	パワーディテクション機能を有効/無効にします。(初期設定:有効)









9.ホットキーセッティングモード(続き)

■ホットキーセッティングモード 一覧

機能	初期設定	ホットキー	内容
ホットキーセッティングモード(HKS)の変更	[NUM] + [-]	[Num Lock]+[-]→[H]	ホットキーセッティングモードへ入るコマンドを [Ctrl]+[F12]に変更します。
ホットキーモード (HTM)の変更	ScrollLock, ScrollLock	[Num Lock]+[-]→[T]	ホットキーモードを[Ctrl],[Ctrl]に変更します。
デフォルトEDIDモード	無効	[Num Lock]+[-]→[V][Enter]	有効/無効にします。 有効にすると切替器内部のEDID情報を接続されたパソコンに認識させます。 (解像度3840×2160@60Hz)
ピープ音	有効	[Num Lock]+[-]→[B]	有効/無効にします。
ポート切替ホットキーを無効にする	有効	[Num Lock]+[-]→[X][Enter]	有効/無効にします。
キーボードエミュレーション	有効	[Num Lock]+[-]→[N]	有効/無効にします。 キーボードエミュレーションOFF時においても下記のホットキー操作は有効です。 H/T/V/B/X/K/R/[A][P][n][Enter]/[A][R][n][m][Enter] / [A][O][Enter]
使用キーボードの基本設定	Windows	[Num Lock]+[-]→[F2]	Windowsキーボードを用いてMacの特殊キーをエミュレーションできる機能です。
	Windows	[Num Lock]+[-]→[F10]	パソコンキーボード ※Macキーボードで直接Mac OSを使用する際はこちら
ホットキーの設定状況確認	—	[Num Lock]+[-]→[F4]	現在の設定状態をクリップボードにコピー
Nキーロールオーバー	有効	[Num Lock]+[-]→[K][Enter]	有効/無効にします。
Power-on Detection	有効	[Num Lock]+[-]→[E]	有効/無効にします。
初期化 (工場出荷状態へ戻す)	—	[Num Lock]+[-]→[R][Enter]	工場出荷状態へ戻します。
現在のポートに追加しもう1つのポート音声をミックス出力させる	無効	[Num Lock]+[-]→[A][P][n][Enter]	現行のポートにもう一つのポートのオーディオ出力を追加してミックスした状態で出力します。 [n]=ポートNo (SW-KVM2U3HD:1or2, SW-KVM4U3HD:1~4)
指定した2つのポート音声をミックスして出力させる	無効	[Num Lock]+[-]→[A][R][n][m][Enter]	指定した2つのポートのオーディオ出力をミックスして出力することができます。 [n][m]=ポートNo (SW-KVM2U3HD:1or2, SW-KVM4U3HD:1~4)
オーディオミックス機能を無効にする	—	[Num Lock]+[-]→[A][O][Enter]	オーディオミックス機能を無効にします。
USBポートをリセットする	—	[Num Lock]+[-]→[F5]	USBポートをリセットします。

10. Macキーボードエミュレーション

コンソールがPC互換キーボード (101/104キー) でも、エミュレーション機能によりMacキーボードの特殊キーを入力できます。対応は下記の表を参照してください。

PC互換キーボード	Macキーボード
[Shift]	shift
[Ctrl]	control
	
[Ctrl] [1] ※	
[Ctrl] [2] ※	
[Ctrl] [3] ※	
[Ctrl] [4] ※	
[Alt]	alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	return
[Backspace]	delete
[Ctrl] 	F15

※ [Ctrl] キーを押してすぐに離し、その後フルキー側の数字キー [1] ~ [4] を押して離してください。

11.仕様

	SW-KVM2U3HD	SW-KVM4U3HD
対応パソコン	Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ (USB Aコネクタメス、HDMI出力を持つ機種)	
対応キーボード	USBキーボード ※1・2・3	
対応マウス	USBマウス ※3	
対応ディスプレイ	HDMI入力端子を標準搭載しているテレビ・パソコン用ディスプレイ	
対応解像度	4096x2160(60/50/30/25/24Hz、4:4:4/4:2:2/4:2:0) 3840x2160(60/50/30/25/24Hz、4:4:4/4:2:2/4:2:0) 1920x1080(60/50/30/24Hz) ※4K/4096x2160(60Hz、4:4:4)、4K/3840x2160(60Hz、4:4:4)出力時の色深度は8bitのみ対応します。	
対応スピーカー	3.5mmステレオミニプラグ対応スピーカー ※音声出力設定をHDMI Audioにしている場合はアナログ音声出力はできません。 別途設定変更が必要です。	
対応OS	Windows 11・10.8.1・8.7・Vist-XP Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016/2019 macOS 12・11、macOS 10.12~10.15、Mac OS X 10.8~10.11 Linux(CentOS、Ubuntu、openSUSE)	
インターフェース	<パソコン側> ディスプレイ:HDMI(タイプA)メス×2 キーボード・マウス:USB3.2 Gen1ハブ: USB Bコネクタメス×2 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 <周辺機器側> ディスプレイ:HDMI(タイプA)メス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 USB3.2 Gen1ハブ:USB Aコネクタメス×2	<パソコン側> ディスプレイ:HDMI(タイプA)メス×4 キーボード・マウス:USB3.2 Gen1ハブ: USB Bコネクタメス×4 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×4 <周辺機器側> ディスプレイ:HDMI(タイプA)メス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 USB3.2 Gen1ハブ:USB Aコネクタメス×2
切替方式	本体ボタン切替、ホットキー切替、オートスキャン切替	
切替音	ビーブ音 ON/OFF設定可能	
電源	ACアダプタ(DC5V 4A)	
消費電流	最大356mA	最大507mA
動作時温度・湿度	0~40℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
保管時温度・湿度	-20℃~60℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
サイズ・重量	W200×D76.6×H42mm・約654g	W260×D76.6×H42mm・約856g
付属品	HDMIケーブル(1.8m)×2 USB3.2 Gen1ケーブル(1.8m)×2 オーディオケーブル(1.8m)×2 電源アダプタ(DC5V 4A)×1 電源コード(1.8m)×1 取扱説明書(保証書付き)	HDMIケーブル(1.8m)×4 USB3.2 Gen1ケーブル(1.8m)×4 オーディオケーブル(1.8m)×4 電源アダプタ(DC5V 4A)×1 電源コード(1.8m)×1 取扱説明書(保証書付き)

- ※1 キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。
 キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバーを要する機能についても本製品経由では使用することができません。
 ※2 指紋認証機能付キーボード、トラックパッド付キーボードなどでは動作しないことがあります。
 ※3 Bluetoothキーボード/Bluetoothマウスには非対応です。
 ※HDMI-High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、米国およびその他の国における
 HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

- 本製品はACアダプタの接続が必須です。未接続状態では動作しません。
- すべてのパソコン・キーボード・マウスの動作を保証するものではありません。
- キーボード、マウスにおいてドライバのインストールを要する特殊なボタン、ファンクションキーについては本切替器経由では動作しないことがあります。
- ワンタッチボタンによるレジューム・サスペンド機能は対応しておりません。

12.トラブルシューティング

SW-KVM2U3HD・4U3HD トラブルシューティング

- Q)** MacとWindowsの混在環境でコンソールにMac用キーボードを使用したい。
A) 取扱説明書P.13の「使用キーボードを変更する」を参照してください。
- Q)** ワイヤレスキーボードマウスセットを使用したい。
A) USBレシーバーを切替器バックパネルの「キーボード接続ポート」に接続して使用ください。
- Q)** USBデバイスが認識しない。
A) スキャナーや複合機プリンターなど一部の機種では機器の認識がしにくい場合があります。
 USBケーブル長を短くしてお試しください。
- Q)** ディスプレイはパソコンに直接接続した状態でキーボード・マウスのみを切替えたい。
A) 可能です。ディスプレイは直接パソコンに接続した状態でキーボード・マウスのみ切替器としてもご利用可能です。

免責

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。